



機械科通信

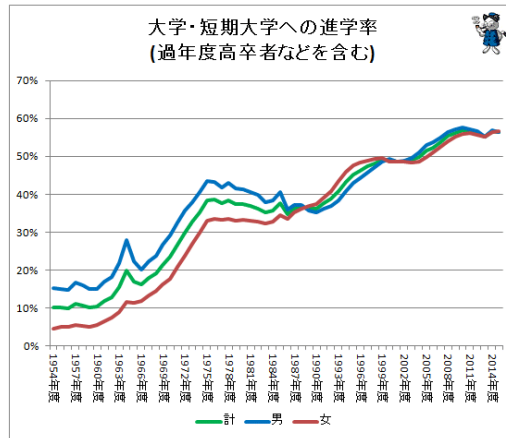
酒田光陵高校機械科
第27号
平成28年6月30日

◆就職？進学？どっちがいいの？

問のなく求人公開（7月1日）となります。3年生は自分の生涯働くであろう企業の求人を心待ちにしているところだと思います。進学希望者は夏休みに集中する大学のオープンキャンパスに参加するために様々な情報を集めていると思います。

さて、就職と進学、どちらがいいのでしょうか？答えは、どちらも正解です。要するに、自分がどこで、どんな立場で、何を仕事としていきたいのかによって進路を決めていけばよいのです。ただ、一昔前と大学の位置づけ、企業の雇用に関する考え方が違ってきています。

グラフを見てわかるとおり、約60%近くが大学に進学している時代です。ということは、大学卒業だけで企業は雇ってくれないということです。今は大学全入時代と言われ、高卒生徒数よりも大学の募集定員の数が多い時代です。要するに大学を選ばなければ高卒全員が大学に進学することができるということです。ということは、大学選びをしっかりと、そこでしっかりと勉強をして企業に必要な人材になる必要があります。そうすれば、高卒では就職しにくい分野や企業に就職できるはず。機械科卒の生徒でこんな例もあります。



↑ 大学・短期大学への進学率(過年度高卒者などを含む)



大学に進学し、その後もっと専門的な知識を身につけたいと思い、大学院に進学しました。論文が認められ賞をいただき、大手メーカーの研究職に内定することができました。

一方就職はどのように変わってきているのでしょうか。進学率が高くなっていることに加え、子供の数がどんどん減ってきているので、各企業とも労働力の確保に苦勞しているようです。日本のトップメーカーは東北と九州の優秀な工業高校生をできるだけ多く採用しているのが現状です。それでは高卒と大卒に大きな差が生まれるのでしょうか。多くの企業はこのように言います「優秀な高校生を採用し、早めに会社の仕組みや技術を習得してもらい、育てていきたい。」と。今は昔のように大卒は技術、高卒は技能と区別している企業は減ってきています。自分の頑張りが道を開く時代です。ある分野で日本トップシェア、世界3位の某製造メーカーの方からこんな話を聞きました。

4年前に入社した生徒さんですが、非常に評判も良く、頑張っていて、この春総合職試験に一発で合格し、大卒と同じステージになりました。更に、開発業務に4年間従事したことで、同じ年齢の大卒よりも期待しています。



結局、進学と就職、どっちがいいのか、それは今後こういった人生を送りたいかによって変わってきます。ただ言えるのは、機械科はそのどちらの道に進むにしても対応が十分できるということです。県内外の企業から熱い求人が機械科あてにやってきますし、国公立の大学に進学もできます。近年注目度が高くなっている私立大学の工学部への指定校の枠もたくさんあります。こんな至れり尽くせりの機械科で夢に向かってもっと頑張りましょう！！明るい未来がもう手の届くところまで来ています。